

# 第16回 チョウ類の保全を考える集い ご案内

チョウの近年の状況はどのようになっているのか、第一部では、全国的な調査から明らかになったチョウの状況について考えます。

近年、自然エネルギー利用の増加とともに、各地で自然破壊の問題も生じています。第二部では、こうした問題を取り上げ、生物多様性保全と自然エネルギーの利用は、どのように調和させていくべきなのかを考えます。

第三部では、各地のチョウや自然環境を守る取り組みをご紹介します。

「チョウ類を考える集い」を、今年も開催します。皆様のご参加を、お待ちしております。



日時：2020年2月1日（土） 10:30～17:30

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 研修室 311

主催：特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

## プログラム：

裏面をご覧ください。

## 参加申し込み：

参加費：1,000円

関心のある方は、どなたでもご参加できます。

参加する際、事前の申込みは必要ありません。当日会場にお越しください。

終了後、18:00から同施設内のレストラン（カフェ・フレンズ センター棟2F）にて懇親会を開催します（会費3,500円）。

懇親会に参加を希望される方は、必ず1月26日までに事前のお申し込みをお願いいたします。

申込み先：裏面のお問い合わせ先まで。

## 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL03-3469-2525

本イベントは、センター棟3階の研修室311です。

アクセス：小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分

（急行は停車しないため、各駅停車をご利用ください）



## プログラム：

- 10:30 ～ 開会（10:00 ～受付開始）
- 10:45 ～ 12:00 **モニタリング調査によるチョウの生息状況**  
「モニタリングサイト 1000 里山調査から明らかになった里山のチョウ類の危機」  
藤田 卓氏（日本自然保護協会）  
「絶滅危惧種および庭のチョウ類調査によるチョウ類の生息状況の推移」  
日本チョウ類保全協会事務局
- 11:50 ～ 13:00 休憩（昼食）
- 13:00 ～ 15:00 **自然エネルギーと生物多様性の保全**  
「増え続ける自然エネルギー利用 ～昆虫類の保全の観点から方向性を考える～」  
日本チョウ類保全協会事務局  
「長野県諏訪市四賀ソーラー事業（仮称）計画について」  
須田真一氏（中央大学理工学部）  
「岡山県真庭市におけるバイオマス利用の取り組み」  
増井太樹氏（岡山県真庭市）
- 15:00 ～ 15:30 休憩（協会ボランティア説明会）
- 15:30 ～ 16:30 **保全活動報告**  
「岩手県安比高原における馬の放牧による草原の再生」  
渋谷晃太郎氏（岩手県立大学）  
「大分県におけるオオルリシジミの保全活動」  
川野雅喜氏（くじゅうオオルリシジミ保存会）
- 16:30 ～ 17:30 **チョウ類保全協会の活動報告**  
「日本チョウ類保全協会による、絶滅危惧種の保全活動」  
アポイ岳での高山植物再生、ツシマウラボシシジミの回復状況、  
フサヒゲルリカミキリの絶滅を防ぐ取り組みほか
- 17:30 閉会  
（懇親会：18:00 ～ 20:00 同施設内のレストラン「カフェ・フレンズ」）



## お問い合わせ先

\*\*\*\*\*

特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

140-0014 東京都品川区大井 4-1-5-201 TEL・FAX：03-3775-7006 TEL 携帯：080-5127-1696

Email：jbc@japan-inter.net

URL：http://japan-inter.net/jbc/

\*\*\*\*\*